

組合員数102,912人
支部数 944
読者数 64,672人
(連絡先) 03(5978)2751 FAX03(5978)2777
E-mail: honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者 しんぶん

第407号 2023年11月15日(水)
(通巻第606号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 杉澤 隆宣 月刊1部100円(組合費に含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



主催者あいさつする杉澤委員長(上)と小畠全労連議長

(上から) 来賓あいさつする倉林
参院議員、年金裁判の加藤弁護士

年内は決意表明する(右から)
金田さん(神奈川)、島崎さん(埼玉)、佐藤さん(東京)、江畑さん(千葉)

あなたも知り合いに声かけて!

「秋の仲間づくり月間」中です

消費税高に年金上げろ

年金者組合は三つの要求

を突き付けていく。(1)消

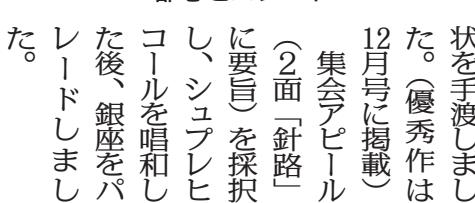
費税を5%に引き下げ

よ、(2)年金額月10万円以

下の人に一律10万円支給



都心をパレード



集会アピール (2面「針路」

に要旨) を採択

し、シップルヒ

コールを唱和し

た後、銀座をパ

レードしました。

「むしろ旗川柳」最優
秀賞の伊藤繁子さん(千
葉)に杉澤委員長が表彰

12月号に掲載

た。(優秀作は

状を手渡しまし

た。)

▼「身を切る改革」。

政府に万博支援(税金
投入)を依頼し、皆に
ボランティアを呼びか
ける知事の殺し文句。

準備遅れの責任は問わ

ず、天下り高級官僚の
事務局幹部には月額2

00万円+賞与+退職

慰労金の優遇はそのま
ま。「庶民の身を切る
改革」ということか。

大軍拡より社会保障を
月27日、首都圏4都県(東京・千葉・埼玉・神奈川)の年金者組合は全労連と共に、東京・日比谷公園で「年金一揆&フェスティバル」を開きました。年金者組合員と労連・民主団体の参加者を含め、1300人の仲間たちが「軍事費削減で社会保障充実を」「若者も安心できる年金を」と岸田政権に迫りました。

主催者あいさつする杉澤委員長(上)と小畠全労連議長



つと頭を
いた問題
解決へ、
読者の皆
さんの知
恵をお借りしたい。8
月号の本紙に「奥様と
いうのは女性差別」と
電話があった。「どう
書けば」には、「それは
要性を報告しました。
編集部で考えて」。
▽なるほど、「奥様」
は、「表」=仕事や交際、
「奥」=家事、という
性役割分担から来てい
る言葉なのだろうが、
今は既婚女性を示す丁
寧語として定着してい
るので…。うーん。
▼閑話休題。おかし
な言葉は多い。「スピ
ード感を持って…」。
すぐにやるのか、すぐ
にやったと思わせるふ
りをするのか。役所言
葉の「可及的速やかに」
なら「できるだけ急い
で」とわかるのだが。
▽「身を切る改革」。
政府に万博支援(税金
投入)を依頼し、皆に
ボランティアを呼びか
ける知事の殺し文句。
準備遅れの責任は問わ
ず、天下り高級官僚の
事務局幹部には月額2
00万円+賞与+退職
慰労金の優遇はそのま
ま。「庶民の身を切る
改革」ということか。

風雪